CONFIDENTIAL

デンソー九州　健康経営戦略マップ

健康投資

- 健康施策の実施運営
  - 定期・特定健診の実施
  - 特定保健指導の実施
- 働き方改革を推進するインフラ整備・制度導入
  - 卒煙に関する情報提供
  - ストレスチェックの実施
  - 多様な働き方の実現に向けた取組み
- 安心・安全に働ける職場環境の整備
  - メンタル対策など教育機会の提供
  - 感染症対策のガイドラインに沿った行動指針の策定と社内展開

健康投資の効果

健康投資施策の取組状況に関する指標	従業員の意識変容・行動変容に関する指標	健康関連の最終的な目標指標
受診結果の向上	有所見者率の低下	プレゼンティーズムの低減
実施率・カリキュラム修了者数の向上	精密検査受診率増加	アブセンティーズムの低減
非喫煙者率の向上	医療費負担減	ワークエンゲージメントの向上
ストレスチェック受検率向上	喫煙者比率の低下	
各種休職制度の整備(実施率)	高ストレス者率低下	
研修資料の配信などの実施率	離職・退職率の低下	
予防接種・職域接種の被接種率	従業員の健康に対する意識向上	
	モチベーション向上	
	パフォーマンス向上	

健康風土の醸成

健康経営の浸透状況	方針実現のための体制・環境	サポート、組織的支援(POS)、WSC等
特定保健指導参加率	健康協議会	職場力調査
従業員向け連絡サービス	ココカラミーティング	ストレスチェック報告会

従業員の健康課題

健康診断(定期健診・特定保健指導)			ストレスチェック		
職種	年代	組織	性別	役職	勤務形態

目標年：2029年

KGI

- 特定保健指導対象者率　15%以下
- 特定保健指導実施率　100%
- 特定保健指導完了率　100%
- 要治療者の医療機関受診率　70%以上

健康経営の目標

いつまでもイキイキと元気に働ける会社
（すべての社員・家族に、健康で笑顔広がる未来を）

健康経営の推進方針

「採用環境の厳しさ」や「従業員の高年齢化」など事業環境が変化する中で組織パフォーマンスを向上させるには、今いる従業員が「長く健康的に働き続けていく」ことが重要な課題と認識。「健康を改善する活動（要治療者のフォロー等）」と「健康を維持・増進させる活動（任意のがん検診受診、ヘルスリテラシーの向上等）」を重点実施事項とし、健康を重視する企業風土醸成に取り組んでいる。

経営方針

安心・安全で風通しの良い職場を作り、良い品質の仕事を生む